

## 令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

### 1 結果と分析

- 男子は、特にソフトボール投げや握力など腕の力を使った能力が優れている。
- 女子は、全体的にバランスがよく、全国平均を超えているものも多くある。
- 男女ともに長座体前屈の柔軟性に課題がある。

### 2 取組についての評価

#### (1) 体育科の学習指導

##### ①効果があった取組

- ・ 体育指導委員の方の指導や先生方の動きのポイントや技のコツ等を知ることができる学びの活動の場の設定。
- ・ 体育の授業時間に5分程度、体作り運動を全学年で取り組んでいる。次年度は、内容の吟味ややり方などについて検討し実行していく。
- ・ 体育委員会を中心とした外遊びの推進。

##### ②改善を図る点

- ・ 体育の授業の中で、児童達が主体的に練習し活動できる場の設定をすること。
- ・ タブレットなどICTを活用し、自己の動きや友達の動きなどの確認し、アドバイスすること。
- ・ 単元によって使う部位などを児童達に意識させること。

#### (2) 今後の体力向上に対する取組

- ・ 日常的に運動に取り組む姿勢を継続し、体育の授業内容などが気軽に取り組めるよう、体育館や校庭に工夫を行う。
- ・ 授業などで教師が意識して指導できるよう、定期的な声かけやOJT等を行っていく。